入選作品

項羽與劉邦

風歇雲収氣勢厖
劉邦威徳世無雙
四面楚歌響垓下
不令項羽渡烏江

項羽と劉邦

風歇み雲収まり気勢厖なり
劉邦の威徳世に双ぶ無し
四面楚歌垓下に響き
項羽をして烏江を渡らしめず

茨城県東茨城郡
伯韻　會沢　剛史

六義園紅梅

花臺月榭對池泉
絶久遊人絲竹莚
今只微風動紅影
従容妓女舞春天

六義園の紅梅

花台月榭池泉に対す
絶えて久し遊人糸竹の莚
今は只だ微風紅影を動かし
従容として妓女春天に舞うのみ

愛知県一宮市
青柳由紀子

閑居春日

昨夜寒風驚夢寐
今朝晴景覺春暄
草庵閑寂無人到
唯有遊禽過畢門

閑居春日

昨夜寒風夢寐を驚かせ
今朝晴景春暄を覚ゆ
草庵閑寂として人の到る無く
唯だ遊禽の華門を過ぎる有るのみ

愛知県津島市　真瑞庵　石原　紘一

室見川冬景

新雪霏霏望白洲
佇鷺凝視碧緑流
瞬時穿水黒鉤嘴
朱鯉高跳飛沫稠

室見川冬景

新雪霏々たる白洲を望めば
佇鷺凝視す碧緑の流れ
瞬時水を穿つ黒鉤の嘴
朱鯉高く跳って飛沫稠し

福岡県福岡市　晃文　岩室富美雄

機場送別

送友平明別恨長
無言握手涙沾裳
鴻程萬里青雲志
機影染紅天外翔

墨水月夜

良夜墨江浮小舟
細漣瀲灩晩風柔
一天狐占ニ分月
皎皎清光遍兩州

機場送別

友を送れば平明別恨長し
言無く手を握りて涙裳を沾す
鴻程万里青雲の志
機影紅に染まりて天外に翔る

墨水月夜

良夜墨江に小舟を浮かぶ
細漣瀲灩として晩風柔らかなり
一天狐り占むニ分の月
皎々たる清光両州に遍し

神奈川県横浜市　尤華　上田　尤子

千葉県柏市　蹊山　薄井　隆

秋夜偶題

萬里荒涼天一端
銀河耿耿落遙灘
北窓燈下分長夜
疎樹有聲蟲語寒

春日山行

行迷野徑入孤村
桃樹萬紅花氣繁
犬吠鷄鳴人盡樂
邑閭疑是武陵源

香川県三豊市　敬石　葛西　敬二

秋夜偶題

万里荒涼たる天の一端
銀河耿々として遥灘に落つ
北窓灯下長夜を分つ
疎樹に声有り虫語寒し

春日山行

行きて野径に迷い孤村に入れば
桃樹萬紅花気繁し
犬吠え鶏鳴き人尽く楽しむ
邑閭疑うらくは是れ武陵源

宮城県仙台市　鎌田　道徳

嬉春絶句

十里郊村流水新
鶯聲饒舌太平春
青歸柳葉江山麗
紅入桃花能醉人

摘茶

彌望茶圃緑芊芊
載笠姑娘友竝肩
芽甲一莖纖手觸
清香忽起里村旋

大分県大分市　紫陽　釘宮　梢

嬉春絶句

十里の郊村流水新たなり
鶯聲饒舌太平の春
青は柳葉に帰して江山麗しく
紅は桃花に入りて能く人を酔わしむ

摘茶

弥望す茶圃緑芊々
笠を載せて姑娘共に肩を並ぶ
芽甲一茎纖手触るれば
清香忽ち起こりて里村旋る

群馬県甘楽郡　藝舟　小須田敦子

月下會友

今宵迎友月方圓
院落蟲聲太耐憐
久闊笑談還卯女
茜裙飜影戯鞦韆

月下会友

今宵友を迎えれば月方に円し
院落の虫声太だ憐れむに耐えたり
久闊笑談すれば卯女に還り
茜裙影を翻して鞦韆に戯る

大阪府寝屋川市
琴泉　小林　順子

遇災

豪雨暴風飛屋梁
月華坐浴破檐房
樂天老漢案詩句
今夕寸時災禍忘

災に遇う

豪雨暴風屋梁を飛ばす
月華坐して浴す破檐の房
楽天の老漢詩句を案じ
今夕寸時災禍忘る

栃木県足利市
鈴木　教良

悼藝人志村兄急逝

何圖癘疫遂無痊
稀代優倡赴九泉
諧謔難忘快男子
落花飛盡有誰憐

芸人志村兄の急逝を悼む

何ぞ図らんや癘疫遂に痊ゆる無く
稀代の優倡九泉に赴く
諧謔忘れ難き快男子
落花飛び尽くし誰有りてか憐れまん

神奈川県海老名市　恭堂　髙津　有二

荒村

雨餘細徑草茫茫
破屋無人苔壁傍
唯看寒鴉啄殘柿
枝頭零露映斜陽

荒村

雨余の細径草茫々
破屋人無く苔壁の傍
唯だ看る寒鴉の残柿を啄むを
枝頭の零露斜陽に映す

東京都杉並区　高橋　純子

春

新緑園梅將結子
舊青叢竹已生孫
鶯聲吶吶出溪谷
風伯飄飄過水村

端午節

青天游鯉地遊兒
想起趨庭年少時
老父八旬今尚健
相携紙筆共敲詩

春

新緑の園梅将に子を結ばんとし
旧青の叢竹已に孫を生ず
鶯声吶々溪谷を出で
風伯飄々水村を過ぐ

端午節

青天には游鯉地には遊児
想起す趨庭年少の時
老父八旬今尚お健なり
紙筆を相携へて共に詩を敲かん

山形県山形市　静山　武田　昌孝

東京都葛飾区　午睡　田邉　閑雄

飛梅

楚楚瓊姿破蕾新
風吹香馥滌心塵
託花菅相謫遷地
無主莫忘宮裏春

福井県福井市　宗山　中嶋　将之

飛梅

楚々たる瓊姿蕾を破って新たなり
風吹かば香り馥として心塵を滌ふ
花に託す菅相謫遷の地
主無しとて忘るる莫かれ宮裏の春

震災後九年憶階上中學卒業式

三陸寥寥蒼海前
喪家九歳未歸年
今春復憶答辭語
琢己興郷不恨天

福岡県福岡市　五楓　秦　英乗

震災後九年階上中学卒業式を憶う

三陸寥々たり蒼海の前
家を喪って九歳未だ帰年ならず
今春復憶う答辞の語
己れを琢き郷を興さん天を恨まずと

過日向灘有感

娶妻遠訪日輪郷
碧昊青灘帶瑞光
偕老閑遊海邊路
籟聲清韻雅懐長

日向灘を過り感有り

妻を娶り遠く日輪の郷に訪えば
碧昊青灘瑞光を帯ぶ
偕老閑遊海辺の路
籟声清韻雅懐長し

福岡県北九州市　盧山日置猛

大雪山旭岳偶感

青巒雨霽眼前連
暘谷陽升四望鮮
絶頂登攀奇勝展
金葩成錦玉花氈

大雪山旭岳偶感

青巒雨霽れ眼前に連なり
暘谷陽は升り四望鮮やかなり
絶頂に登攀すれば奇勝展ず
金葩錦を成す玉花氈

愛知県弥富市　耳雲古田茂

寒夜讀書

獨坐窓前斜月臨
朔風如剣峭寒侵
虚堂發憤留神讀
燈焔煌煌學海深

風

雨洗殘炎汗自収
成陰竹樹水邊樓
清風颯颯吹襟袖
柔櫓悠然一葉舟

福井県鯖江市
増田　穂花

寒夜読書

独り坐す窓前斜月臨む
朔風剣の如く峭寒侵す
虚堂憤りを発して神を留めて読む
灯焔煌々として学海深し

風

雨は残炎を洗ひて汗自ずから収まる
陰を成す竹樹水辺の楼
清風颯々襟袖を吹く
柔櫓悠然一葉の舟

愛知県豊田市
汀華　水谷奈緒美

喜中秋友至

清宵若水欲深秋
白露溥溥爽氣流
月下叩門風雅友
開顔對酌誂賡酬

中秋友の到るを喜ぶ

清宵水の若くして深秋ならんと欲す
白露溥々として爽気流る
月下門を叩く風雅の友
開顔対酌賡酬を誂む

兵庫県神戸市
稲村見寄權次郎

琵琶湖殘照

湖畔風光矢走頭
比良山色眺望優
白鷗片片拂船去
耀耀銀波夕照悠

琵琶湖残照

湖畔の風光矢走の頭
比良の山色眺望優る
白鷗片々船を払って去り
耀々たる銀波夕照悠なり

宮崎県宮崎市
輝靈八代正輝

早春賦

吹起一番花信風
三寒四暖日將融
白梅翠竹色相照
村巷景佳春靄中

早春賦

吹き起こる一番花信の風
三寒四暖日将に融なり
白梅翠竹色相照らし
村巷の景佳春靄の中

宮崎県宮崎市　光晃子　八代　美恵

空屋春

母逝荒庭一老梅
鎖門無主薮枝開
浮香素魄不忘季
遷囀黄鸝共競魁

空屋の春

母逝きし荒庭の一老梅
門を鎖じ主無きも数枝開く
浮香素魄季を忘れず
遷囀黄鸝共に魁を競ふ

石川県小松市　葩舟　安田　裕子

遊懐古園

観山雪裏古城頭
一水龍鱗千曲流
客子眺望宜酌酒
閑吟絶唱旅情悠

神奈川県横浜市
木風　横山　真吾

懐古園に遊ぶ

山は雪裏に観る古城の頭
一水龍鱗として千曲は流る
客子眺望として宜しく酒を酌むべし
絶唱を閑吟すれば旅情悠かなり

縄文杉

突兀青螺南海浮
能堪豪雨烈風秋
老杉生氣幾千載
深刻英姿苦節留

大阪府交野市
慧邦　渡邉　正則

縄文杉

突兀たる青螺南海に浮かび
能く堪えたり豪雨烈風の秋に
老杉の生気幾千載
深刻の英姿苦節を留む